

2 平成13年8月30日から31日にかけての台風第15号について

(1) 気象状況

天気概況

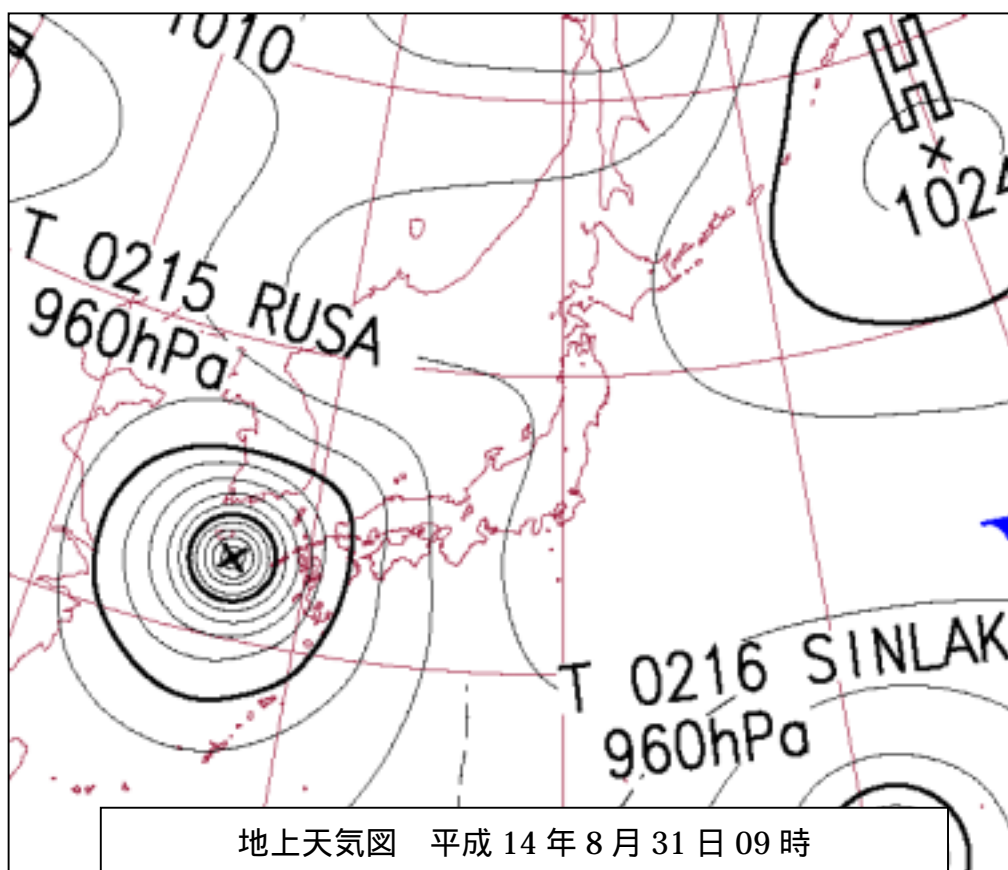
8月22日15時にピキニ島の北海上で発生した熱帯低気圧は発達しながら西北西へ進み、23日09時に同島の北西海上で台風第15号になった。台風は26日21時に父島の南東海上で大型の強い台風となった。台風は次第に北西へ向きを変え、29日21時頃奄美大島北部を通過した。その後、台風は九州の西海上を北上し、31日18時頃朝鮮半島に上陸した。9月1日の09時に同半島の東岸で熱帯低気圧になった。

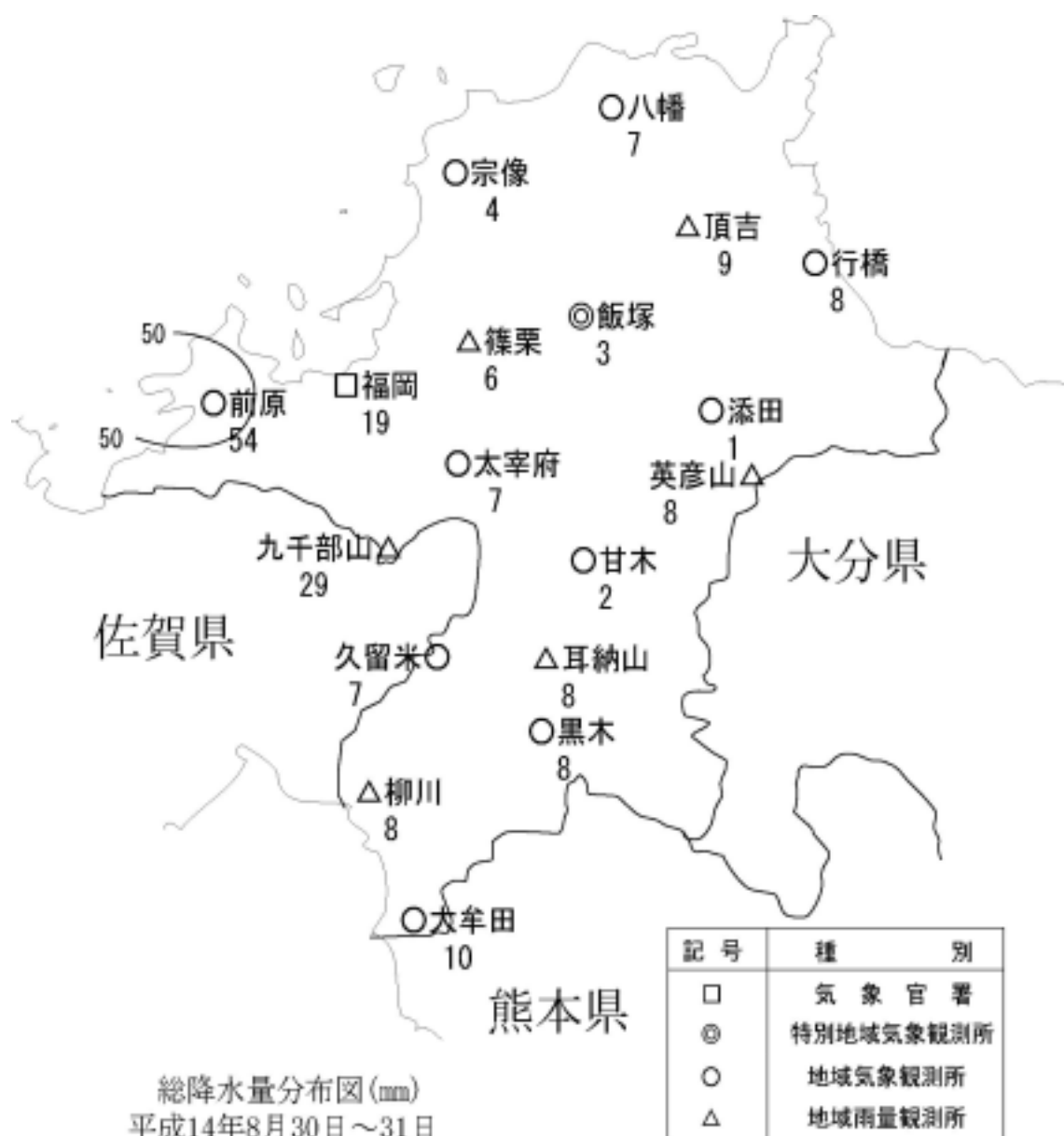
31日福岡では20時46分に最大瞬間風速26.9m/s(南の風)、22時00分に最大風速12.1m/s(南の風)を観測した。

この台風の通過により、福岡県では30日04時頃筑後地方が強風域に入り、同日15時頃には県内全域が強風域に入った。

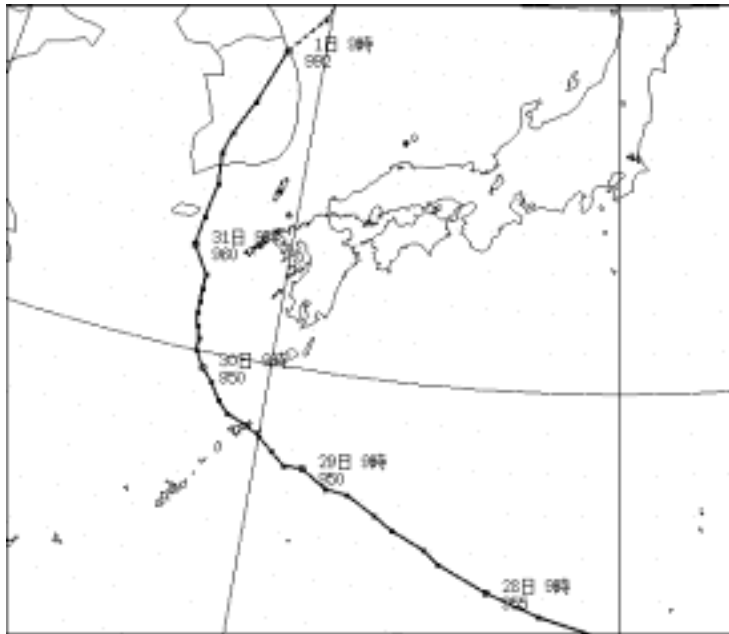
この後県内が強風域を抜けたのは9月1日03時頃であった。

この台風による降水量は少なく、主な地点の日降水量は、前原50mm(31日)、九千部25mm(31日)などであった。





総降水量分布図(mm)
 平成14年8月30日～31日



平成14年台風第15号 経路図

降水量(平成14年8月30日~31日)

単位:mm

